

2016年（平成28年）年頭にあたって



病院長 仙賀 裕

新年明けましておめでとうございます。
本年も宜しくお願い致します。年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。

この数年来、国の医療政策の柱として、高齢化がピークに達する 2025 年に向け、地域医療構想、病床機能の適正配置と在宅医療の拡充が強く押し出されています。

当院も昨年と同様に改正医療法に基づき義務とされる平成 27 年度の病床機能報告を厚生労働省に提出しました。

また 2025 年に向けて湘南東部医療圏での地域医療構想を実現させるために、湘南東部地区保健医療福祉推進会議のひとつの部会として地域医療構想調整部会が地域医療構想調整会議と位置づけられ、昨年は 2 回調整部会が開催されました。

第 1 回（7 月 30 日開催）は、委員の顔合わせ、部会長、副部会長の選出、県医療課から地域医療構想策定についての具体的な説明、病床機能制度の報告内容の共有、湘南東部医療圏の必要病床数、策定に係るスケジュール等が話し合われました。

第 2 回（10 月 22 日開催）は、構想区域の設定及び都道府県間に係る患者の流入調整について話し合われました。

第 3 回は、平成 28 年 2 月 1 日に予定され、地域の特性及び構想区域間調整が予定議題です。9 月までに合計 6 回の調整部会を開催し、10 月には湘南東部医療圏の地域医療構想が策定されることになっています。一度策定されたら県知事から公的病院は命令、民間病院は要請という形で当院も病床数、病床機能等この地域医療構想に従わなければなりません。

本年は、湘南東部医療圏、茅ヶ崎市における当院の今後の役割が決定される重要な年です。救急医療、癌治療、小児医療、周産期医療等、現在茅ヶ崎市内で当院のみでしか対応できない患者、地域住民のために、別棟建設を含め病院機能の拡充を図っていると神奈川県、国に声高らかに訴えていかなければなりません。その努力を怠れば当院は多くの病床が慢性期、回復期の病床として認定されてしまう可能性もあります。そのためこの 1 年が勝負です。大都市圏の公的病院が慢性期、回復期として認定されたら公的病院を返上し、民間に経営、運営をまかせていくことになっていくでしょう。そのほうが効率的だからです。

また更に 401 床すべてが急性期病床として維持されるためには病床稼働率が 78%以上でなければなりません。全職員は地域住民、患者さんの力を借りながらこの 1 年、更に機能が充実した急性期病

院にしていくために頑張っていて欲しいと切に思っています。

地域医療構想には保健、福祉、介護も含めた地域包括ケアシステムも組み合わされています。その狙いが在宅医療の拡充であることは一目瞭然で、これが改正医療法の狙いようです。

高齢化が進展し、医療・介護サービスの需要が増大していく中で、患者さんそれぞれの状態にふさわしい良質かつ適切な医療を効果的かつ効率的に提供する体制を構築していくことに要約されます。そのためには医療機能の分化・連携を進め、各医療機能に応じて必要な医療資源を適切に投入し、入院医療全体の強化を図るとともに、同時に、退院患者さんの生活を支える在宅医療及び介護サービス提供体制を充実させていくことが必要です。当院は茅ヶ崎市、茅ヶ崎医師会、茅ヶ崎歯科医師会、茅ヶ崎寒川薬剤師会等関係組織、地域住民とさらに協力を深め、本年もその実現の一翼を担いたいと思います。

ともかく改正医療法の意図する意味、内容を理解することが医療の世界で生き残りを図るために必要不可欠です。そのため本年も病院機能、病院運営、病院経営を地域医療連携、地域包括ケア、地域医療構想の視点から常に見直していきます。

ところで、昨年も茅ヶ崎市民、患者さんには急性期医療に不便を感じさせることなく診療が行えたと自負していますが、その要因のひとつとして職員の意識が大きく変わってきたことがあげられます。改善すべき点もありますが、患者さんを含めたすべての来院者に対しての接遇の改善に努力しています。

当院としては本年も救急医療体制を更に充実させ、二次救急医療病院に特化し

つつも、紹介・逆紹介等地域医療支援病院として地域医療連携室の機能をさらに向上させ、在宅医療・介護サービスの太いパイプになり、地域住民、患者サービスに努めていく予定です。このため必須となる別棟建設を本年はスタートさせます。

当院をはじめとする公立病院は周囲の医療環境がどのように変化しても、毅然たる態度で良質な医療を地域住民に提供し続ける必要があるということをあらためて肝に銘じて本年を茅ヶ崎市民、患者さん、当院職員にとって良い年にしていきたいと強く思います。患者さんの最後の砦は公立病院である茅ヶ崎市立病院でありたいと思い、また当院に受診されるすべての患者さんが満足して帰れるような病院にしていく所存です。

茅ヶ崎市立病院は茅ヶ崎市民の貴重な財産です。本年もすべての職種で優秀な人材を採用していきたいと考えています。

癌治療の充実、周産期医療の充実、救急医療体制の拡充、災害時医療の日頃の準備、地域医療連携、市民の健康管理への対応、安全管理への個々の職員・病院全体の心構え、職場環境の改善などを本年もさらに充実させていきます。ご支援、ご指導を宜しくお願いします。

